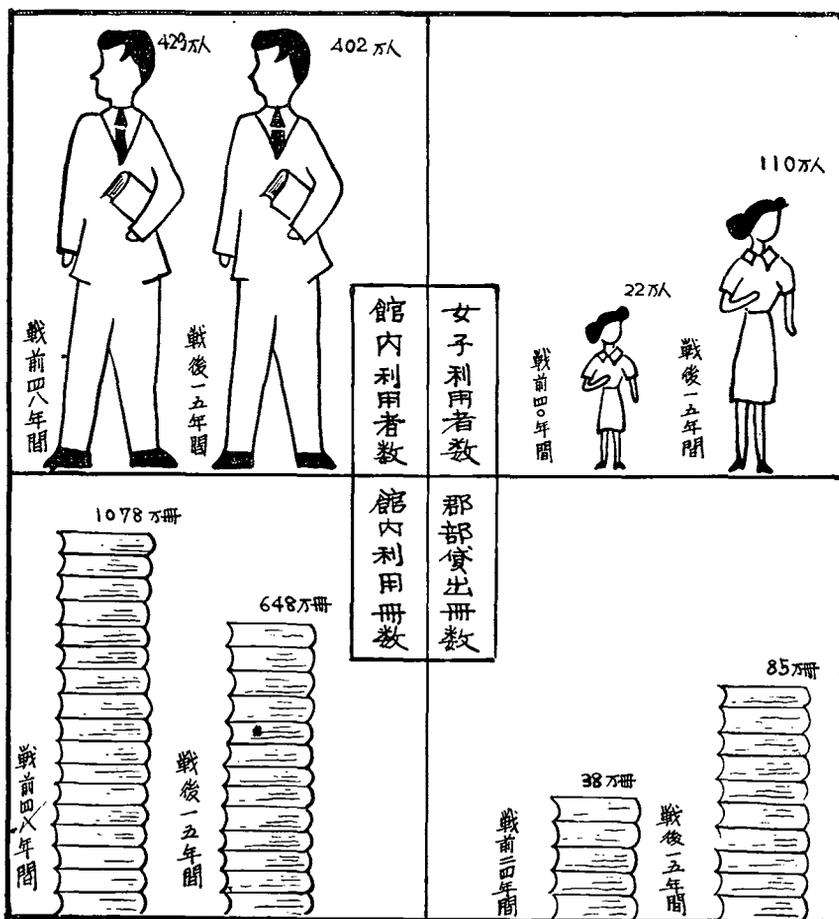


# 昭和35年度事業報告

(1960. 4. 1~1961. 3. 31)

## 利用のうつり変り

(明治31年~昭和35年)



京 都 府 立 図 書 館

京都市左京区岡崎成勝寺町 9 電・吉田(7)0069・2450

# 1 新館建設準備状況

府民待望の府立図書館の新築は、いよいよ京都府総合資料館の構想となつて実現することとなった。6月6日京都府総合資料館建設懇話会第1回の会合が都ホテルで開催され、総合資料館の一般的構想について話し合いが行われた。ついで1月27日第2回の懇話会が開かれ、敷地ならびに建物の規模・構造についての話し合いが行われた。当日の決定事項は、敷地は府立大学北方の府種鶏場、府立大学農場の一部、約13,000平方米(約4,000坪)をこれに当てること、ならびに建物の大きさは延約8,300平方米(約2,500坪)とすること等である。

ついで2月府会において、新築経費約3億円のうち、36年度分1億円が議決された。

なお建築の設計は富家宏泰氏がこれに当たることとなった。

## 2 館内利用者 (本館および市内3分館)

本館および市内3分館における、本年度内利用者総数は、343,292人(1日平均1,241人)である。これを戦前最高の昭和10年の利用者総数129,782人(1日平均399人)と比較すると、その約3倍に当たるわけである。

	戦前	戦後
利用者数	4,288,759 明治31—昭和20 48年間	4,016,429 昭和21—昭和35 15年間
女子利用者数	224,707 明治39—昭和20 40年間	1,093,895 昭和21—昭和35 15年間

戦前戦後における図書館の館内利用者の動きは右のとおりである。

## 3 京都市内4館の利用者の内訳

	本館	伏見分館	中京分館	上京分館	合計
利用者数(人)	239,737	43,989	23,718	35,848	343,292
利用冊数(冊)	256,508	44,324	45,097	46,305	392,234
開館日数(日)	276	281	282	274	—
1日平均利用者数(人)	869	157	84	131	1,241
男(%)	74	66	88	71	74
女(%)	26	34	12	29	26
一般(%)	11	9	66	6	14
学生(%)	89	91	34	94	86

学生の類別は、岡崎本館における調査では

大学生 20%      高校生 39%      中学生 9%  
小学生 8%      各種学校 24%

となっている。

## 4 開架図書の利用状況

岡崎本館では、大閲覧室および学生室の一部に開架書架を設けて、新刊書・基本図書・雑誌をおき、児童室に完全開架制を行っている。開架図書の利用は非常に多く、本館における利用冊数の約8割を占めている。

大閲覧室 約10,000冊      学生室 約3,000冊      児童室 約3,000冊

## 5 利用図書の内容

岡崎本館での図書利用冊数は、約26万冊で1日平均929冊である。

これを図書の分類別にみると右のとおりである。

総記	2.6%	自然科学	13.7%	語学	6.8%
哲学・宗教	3.1%	工学	4.2%	文学	12.9%
歴史・地理	11.3%	産業	1.8%	児童	18.3%
社会科学	9.9%	芸術	3.5%	新聞・雑誌	11.9%

## 6 館外貸出冊数

### (1) 団体貸出 (地方6分館および貸出文庫)

地方6分館および貸出文庫において、各種団体に対し、長期貸出(期間1か月)を行っている。本年度内の貸出冊数は、58,428冊である。

なお、これらの長期貸出図書は、1か月の貸出期間中に、各冊平均約3人の手を経て読まれるから、この分の本年度利用者総数は約175,000人と推定される。

### (2) 個人貸出 (中京分館)

中京分館では、本年10月から、利用者の便宜をはかり、個人の館外貸出を実施した。毎月約200冊の貸出がある。本年度内貸出総数は1,176冊である。

## 7 読書相談

近代図書館の最も大切なサービスは読書相談である。このため本館は専任の職員を配置して、利用者のあらゆる質問に答えられる態勢をとっている。

質問の種類は1時間以上も調査を要する

複雑なものもあれば、ごく簡単な、数分で

片づくものもある。館員の直接面接による回答とならんで、最近電話によるものや、郵便によるものが増えてきた。利用者の範囲は、京都府内はもちろん、他府県からの質問も相当あり、最近ニューヨークの日系商社から「納豆の作り方」についての紹介もあった。読書相談業務が世間に周知されてきたためであろう。なお官公庁・会社・工場・報道機関・文化団体からの利用が盛んであるが、京都の特殊性として、郷土の産業——染織・図案・映画製作・出版・電機等のものが多い。

また特許庁発行の特許公報・実用新案公報・意匠公報・商標公報・審決公報の利用も、読書相談室において取扱っている。

## 8 児童室

少年少女のために、よい読書環境をつくることはきわめて大切である。

本年度の利用児童は17,455名(男56%、女44%)で、図書館附近の小学校の児童が多い。

なお、利用児童が図書委員となって、児童室運営に協力している。

## 9 蔵書冊数

昭和35年度末における当館の蔵書冊数は約27万冊となった。その各館別の内訳は右のとおりである。

本年度内における受入図書数は7,459冊(購入=5,659、寄附=1,145、編入受入=667、数量更正による減=13)。使用頻度が高い

ため、使用不能になったための払出、および亡失による払出図書数は441冊であり7,018冊の純増となる。

口頭	9,594件	郵便	160件	開室日数	276日
電話	2,502件	計	12,256件	1日平均	44.4件

本館	224,764(冊)	峰山地方分館	5,077(冊)
伏見分館	7,004	宮津地方分館	5,079
中京分館	5,915	綾部地方分館	4,609
上京分館	6,242	園部地方分館	3,802
		北桑地方分館	3,026
		木津地方分館	3,516
		合計	269,034

## 10 分館

### (1) 伏見分館 (昭和25年2月開設)

伏見地区は、岡崎本館から約8kmはなれ、分館の必要性は高い。この分館は、はじめ他の建物の一部を借用して出発し、昭和29年快適な新館舎の落成をまつて、移転再開した。敷地859平方メートル、閲覧室70坪、座席120である。独立館舎をもった、初の本格的分館(コミュニティー・ブランチ)として、将来洛南地区文化センターの役割を果す日が期待される。

本年度の入館者数は、1日平均157名、1日最高428名であった。

(2) 中京分館 (昭和24年6月開設)

この分館は、当初、丸善京都支店地下室を借用してきたが、丸善支店の都合により、一時閉館、昭和32年6月、烏丸丸太町下ル京都府烏丸庁舎の3階 228平方米を利用して再開した。

中京分館は、新刊の小説・随筆・新聞・雑誌を中心に、完全開架制をとり、気軽な市民の読書室となることを目標としている。なおこの分館の所在地は、京都商工会議所に近く、商工業者の利用を促進する目的をもって、商工業関係の図書・雑誌・パンフレット類の収集につとめている。

本年度の入館者数は1日平均84名で、一般人が学生よりもはるかに多く66%を占めている。

なお本年10月から利用者の便宜をはかり、個人の館外貸出を実施した。毎月約200冊の貸出がある。

(3) 上京分館 (昭和26年4月開設)

京都市の北部地区も岡崎本館から遠く、ここに昭和26年から上京分館が設置され活動してきた。

昭和31年4月、それまで借用していた紫郊会館から、現在の北区等持院の故木島桜谷面伯の、元画室に移った。ここは市電と郊外電車の交叉点、白梅町に近く、周囲は住宅地である。新館舎は約198平方米で、閲覧席80を有し、広い庭を前に控えて、明るく快適である。

本年度入館者数は1日平均131名、1日最高363名であった。

(4) 地方分館

昭和25年に、峰山・宮津・綾部の3館、次いで昭和27年に園部・北桑・木津の3館が開設され、現在の6館である。これらの地方分館は地域内の公民館・婦人会・読書会などの団体に対して、30冊ないし50冊を期間1か月で、団体貸出しするものである。

なお文部省国庫補助を得て、「青年学級文庫」を購入し、地方6分館および本館貸出文庫配にして「青年学級」の読書活動を援助している。

館名	利用団体数	利用冊数(冊)
峰山地方分館	400	9,979
宮津地方分館	159*	3,988*
綾部地方分館	219	9,062
園部地方分館	324	11,654
北桑地方分館	145	9,285
木津地方分館	353	8,570
合計	1,600	52,538

\* 35年11月から36年3月まで職員欠員のため休館

11 貸出文庫

本館内にあり、主として京都市内および近郊の団体に対する貸出を行っている。

本年度内における利用団体数 142、利用冊数 5,890冊であった。

12 経費

本年度諸経費は約22,882,000円で内訳は右のとおりである。

なお本年度末における館員数は、主事39名、主事補6名、労務員1名、準職員4名、計50名である。

費目	金額	比較
人件費	約17,997,000円	78.7(%)
図書館資料費	3,099,000円	13.5(%)
図書費	2,333,000円	10.2(%)
(  )  定期刊行物	766,000円	3.3(%)
その他の経費	1,786,000円	7.8(%)
計	22,882,000円	100.0(%)

京都府立図書館所在地一覧

館名	所在地	電話	館名	所在地	電話
本館	京都市左京区岡崎成勝寺町9	(7)0069 2450	宮津地方分館	宮津市鶴賀	宮津350
伏見分館	京都市伏見区瀬戸物町746	(9)2548	綾部地方分館	綾部市並松町	綾部13
中京分館	京都市中京区烏丸通丸太町下ル(京都府烏丸庁舎3階)	(2)0916	園部地方分館	船井郡園部町字小桜町	園部250
上京分館	京都市北区等持院東町56	(4)9396	北桑地方分館	北桑田郡京北町字下中	弓削40
峰山地方分館	中郡峰山町字丹波	峰山232	木津地方分館	相楽郡木津町字内垣外	山城101 木津